

一般競争入札を行いますので、京都市契約事務規則第5条の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成20年6月16日

京都市長 門川大作

1 競争入札に付する事項

本件は、下記の(1)ア及びイ（2件一括）、ウ及びエ（2件一括）の工事について、それぞれ入札し、契約しようとするものである。

(1) 対象となる工事

ア 区画線新設補修工事

(ア) 工事場所

京都市伏見区横大路下三栖里ノ内他地内

(イ) 工事概要

a 工事延長6,310メートル

b 溶融式区画線実線・白線W=15センチメートル 8,960メートル

c 溶融式区画線実線・白線W=30センチメートル 30メートル

d 溶融式区画線破線・白線W=15センチメートル 510メートル

e 溶融式区画線ゼブラ・白線W=45センチメートル 110メートル

f 溶融式区画線矢印記号文字・白線W=15センチメートル換算 110
メートル

g 区画線消去30メートル

(ウ) 工期

契約の日から120日以内

(エ) 支払条件

a 前金払

請負代金の4割を超えない範囲内で支払うこととする。

b 部分払

なし

イ 交通安全施設整備（その1）工事

(7) 工事場所

市道洛西自歩51号線他 京都市西京区大原野西境谷町二丁目他

(イ) 工事概要

a 自転車・バイク進入防止柵1組

b ポール型車止め（LED1, 脱着, 鍵付）1本

c 横型車止め・直線（脱着, 鍵付）1本

d 横型車止め・コーナー（固定）1本

e 区画線工一式

f 車線分離標（h800, 1本足, 可変）20本

(ウ) 工期

契約の日から60日以内

(I) 支払条件

a 前金払

請負代金の4割を超えない範囲内で支払うこととする。

b 部分払

なし

ウ 区画線補修工事

(7) 工事場所

主要市道嵐山祇園線他 京都市右京区西院西貝川町他地内

(イ) 工事概要

- a 工事延長5,450メートル
- b ガードレール35メートル
- c 横断防止柵35メートル
- d 区画線工一式

(ウ) 工期

契約の日から120日以内

(エ) 支払条件

- a 前金払

請負代金の4割を超えない範囲内で支払うこととする。

- b 部分払

なし

エ 交通安全施設整備工事

(7) 工事場所

一般府道渋谷山科停車場線他 京都市山科区北花山中道町他地内

(イ) 工事概要

- a 防護柵工一式
- b 路面塗装工一式
- c 区画線工一式
- d 道路附属施設工一式

(ウ) 工期

着工命令の日から平成20年11月28日まで

(エ) 支払条件

- a 前金払

請負代金の4割を超えない範囲内で支払うこととする。

b 部分払

なし

2 本件入札に関する問合せ先

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市理財局財務部調度課工事契約担当

(電話075-222-3313)

3 入札参加資格に関する事項

本件入札の一般競争入札参加資格確認申請書を提出する日((4)にあっては、公告の日から開札の日までの間)において、現に京都市契約事務規則(以下「規則」という。)第4条第1項に規定する一般競争入札有資格者名簿又は同規則第22条第1項に規定する指名競争入札有資格者名簿に登載されている者であって、次に掲げるすべての条件を満たす者

(1) 本市内に本店を有すること。

(2) 「競争入札参加有資格者名簿(工事)」の道路施設工事種目に平成17年度以前から登録されていること。ただし、平成20年5月20日開札の「区画線補修工事(京都広河原美山線他)及び「①事故危険箇所他工事(下鴨京都停車場線他)②路面標示補修工事(嵐山祇園線他)」(2件一括)の落札者は、本件入札には参加できないものとする。

(3) 建設業法に規定する主任技術者を専任で1名以上配置し得ること。

なお、配置予定の技術者については、常勤の自社社員であり、かつ開札日において、引き続き3箇月以上の雇用関係があること。

(4) 公告の日から開札の日までの間において、京都市競争入札等取扱要綱(以下

「要綱」という。) 第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止を受けていないこと。

(5) 関係会社の参加制限

本件入札に参加しようとする者で、次の各号のいずれかの関係に該当する場合は、そのうちの一者しか参加できない。

ア 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社（会社法第2条第3号及び会社法施行規則第3条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が会社更生法第2条第7項に規定する更生会社（以下「更生会社」という。）又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合を除く。

(7) 親会社（会社法第2条第4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(7)については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合は除く。

(7) 一方の会社の役員が他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が他方の会社の会社更生法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

前各号と同視し得る資本関係又は人的関係にあると認められる場合

4 入札方法等

- (1) 本件入札に参加しようとする者は、1(1)のア及びイ（2件一括）又はウ及びエ（2件一括）の工事のうちいずれか1件を選んだうえで、入札に参加すること。

なお、両方の工事の入札に参加した場合は、入札を無効とする。

- (2) 本件入札は、京都市電子入札システムにより行う。

京都市電子入札システムによる入札は、次のア又はイのいずれかの方法による。

ア 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード（本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一名義人のもの又は受任者がいる場合には受任者の名義のもので、かつ落札決定の日時までの間において有効であるものに限る。）を取得したうえで、京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信する方法（以下この方法により入札する者を「インターネット利用者」という。）

なお、インターネット利用者は入札データを送信しようとする日までに京都市電子入札システムへの利用者登録を行っていないなければならない。

イ 入札端末機利用者カード（規則第6条第4項に規定する入札端末機利用者カードをいう。）の交付を受けている者が、京都市理財局財務部調度課（以下「調度課」という。）に設置する入札端末機（規則第6条第2項に規定する入札端末機をいう。以下同じ。）を使用することにより入札データを送信する方法（以下この方法により入札するものを「端末機利用者」という。）

なお、端末機利用者が入札端末機利用者カードの発行を受けていないときは、入札期間終了の1時間前までに入札端末機利用者カードの発行を申請し、同カードの発行を受けていないなければならない。

- (3) 本件入札に参加しようとする者は、公告の日から入札期間初日の直前の開庁日の午後5時までに、次のア又はイの方法により複写承認書を手すること。

ア 京都市電子入札システムにより、インターネットを利用して複写承認書を

入手する（この場合、複写承認書を入手しようとする日までに、京都市電子入札システムへの登録を行っていないなければならない。）。

イ 調度課に設置する入札端末機により、複写承認書を入手する（この場合、複写承認書を入手できる期間終了の1時間前までに、入札端末機利用者カードの発行を申請し、同カードの発行を受けていなければならない。）。

(4) 本件入札に参加しようとする者は、前項で入手した複写承認書を次のア又はイの設計図書等の販売業者に提示して、設計図書等を購入し、積算のうえ、(7)に記載する入札期間内に入札を行うこと。

(設計図書等の販売業者)

ア 有限会社岩本青写真

京都市中京区押小路通東洞院西入（電話075-255-5681）

(7) 1(1)ア及びイ（2件一括）

想定販売金額 1,240円（A2青写真 2枚、A3コピー 2枚、A4コピー 56枚）

(イ) 1(1)ウ及びエ（2件一括）

想定販売金額 2,500円（A1青写真 3枚、A2青写真 1枚、A3コピー 1枚、A4コピー 113枚）

イ 株式会社中央精器

京都市下京区烏丸通五条下る大坂町 第3キョートビル1階（電話075-351-2992）

(7) 1(1)ア及びイ（2件一括）

想定販売金額 976円（A2青写真 2枚、A3コピー 2枚、A4コピー 56枚）

(イ) 1(1)ウ及びエ（2件一括）

想定販売金額 1,959円 (A1青写真 3枚, A2青写真 1枚, A3コピー 1枚, A4コピー 113枚)

(5) 落札価格は、入札金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、消費税及び地方消費税を含まない金額を入力すること。

(6) 入札者は、送信した入札データの訂正又は撤回をすることはできない。また、入札者は、入札データ送信後の辞退はできない。

(7) 入札期間

平成20年6月30日(月)、平成20年7月1日(火)及び2日(水)の午前9時から午後5時まで。ただし、端末機利用者は正午から午後1時までを除く。

(8) 予定価格及び最低制限価格

本件入札の予定価格及び最低制限価格は、次のとおりである。

ア 1(1)のア及びイ(2件一括)の工事

(ア) 予定価格 9,471,000円(消費税及び地方消費税を含まない。)

(イ) 最低制限価格 7,103,000円(消費税及び地方消費税を含まない。)

イ 1(1)のウ及びエ(2件一括)の工事

(ウ) 予定価格 9,342,000円(消費税及び地方消費税を含まない。)

(エ) 最低制限価格 7,006,000円(消費税及び地方消費税を含まない。)

(9) 入札参加資格確認申請書等の提出

入札者は、次の書類を提出しなければならない。

なお、必要書類の作成に係る費用は申請者の負担とし、提出された書類は返却しないが、本市において無断で使用しないものとする。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書

イ 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（建設業法第27条の27の規定によるもので、同法第27条の29第1項に規定する総合評定値が記載されており、開札日において有効（審査基準日から1年7箇月以内）なものに限る。）の写し

ウ 技術者配置予定調書

3(3)の技術者を記載し、その者の技術者資格及び雇用関係を証明し得る書類等の写し等を添付すること。

なお、落札した場合には、技術者配置予定調書に記載された者と異なる者を配置すること及び履行の途中における技術者の変更は認められない。

(10) 入札参加資格確認申請書及び技術者配置予定調書の交付

本件入札の公告日から入札期間終了まで、調度課のホームページ（ホームページのアドレス <http://www.city.kyoto.jp/rizai/chodo/>）及び調度課に設置する公告閲覧専用端末機に入札公告と併せて入札参加資格確認申請書及び技術者配置予定調書（以下「申請書等」という。）を掲示するので、調度課のホームページ又は調度課に設置する公告閲覧専用端末機から当該申請書等をダウンロードのうえ、A4判の帳票として印刷し使用すること。ただし、公告閲覧専用端末機による交付は、上記期間（京都市の休日をも定める条例に規定する本市の休日（以下「休日」という。）を除く。）の午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までを除く。）とする。

(11) 入札参加資格確認申請書等は次の方法により提出すること。

ア インターネット利用者の場合

入札データを送信する際、ワード、エクセル（Office2003で扱えること。）
又はPDFファイル（Adobe Reader7.0で扱えること。）にして添付すること。
なお、添付できるデータは1ファイルのみであるので、入札参加資格確認申請書等を1つのファイルにして添付すること。

イ 端末機利用者の場合

入札参加資格確認申請書等を封入、封かんし、封筒表面には入札番号、工事名及び工事場所のみを記載して、4(7)の入札期間内に、2の場所に設置してある「入札資料提出ポスト」に投函すること。

5 開札及び落札者の決定

(1) 開札予定日時

平成20年7月3日（木）午前10時

(2) 入札参加資格の確認

開札後、予定価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者について、入札参加資格の確認を行う。確認を行った結果、入札参加資格がないと認められるときは、その者の行った入札は無効とし、予定価格の範囲内で有効な入札を行った他の者のうち、次に最低の価格をもって入札を行った者について、入札参加資格の確認を行う。

なお、予定価格の範囲内で有効な入札を行った者のうち、入札金額が同額の者が二者以上あるときは、開札時に抽選により入札参加資格の確認を行う順位を決定する。

(3) 落札者の決定

予定価格の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者のうち、入札参加資格を有すると認められた者を落札者とする。

(4) 入札参加資格の取消し等

入札参加資格を確認する前に、入札者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、その者の入札参加資格は認めない。

ア 規則第2条第1項の規定により定めた一般競争入札参加者の資格を喪失したとき。

イ 3に規定する本件入札に参加する者に必要な資格を喪失したとき。

ウ 要綱第29条第1項の規定により定めた競争入札参加停止を受けたとき。

エ その他市長が特に入札参加資格を有することが不適當であると認めたとき。

(5) 落札結果の公表

落札者を決定したときは、落札者に対して速やかに通知するとともに、落札者の商号（法人にあっては名称）及び落札金額等を、落札者を決定した日の翌開庁日の午後1時から調度課のホームページにおいて公表し、併せて2の場所で閲覧に供する。

なお、開札日に落札者を決定しないときは、すべての入札者の商号（法人にあっては名称）及び入札金額等を、開札日の翌開庁日の午後1時から落札結果の公表までの間、調度課のホームページにおいて公表し、併せて2の場所で閲覧に供する。

(6) 落札者以外の入札者に対する書面による理由説明

落札者以外の入札者は、落札者とならなかった理由について書面による説明を求める場合は、落札者を公表した日の翌日から起算して2日後（日数の計算に当たっては、休日を除く。）の午後5時までに、その旨を記載した書面を2の場所まで持参し、提出すること。

6 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

免除

(2) 契約保証金

ア 1(1)のア, イ及びエ

免除

イ 1(1)のウ

納付。ただし、有価証券等の提供又は銀行等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

7 入札の無効

規則第6条の2各号（第3号を除く。）に該当する入札は無効とする。

8 その他

(1) 本件入札は、政府調達に関する協定の適用を受けるものではない。

(2) 手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

(3) 契約書作成の要否 要

(4) 本公告に関する問い合わせ先 2の問合せ先に同じ。

(5) 公正な競争を確保するため、本件入札において互いに競争相手であった落札者（以下「契約者」という。）と落札者以外のもの（以下「非落札者」という。）とが、次に掲げる事項を行うことを禁止する。

ア 契約者が、非落札者に本件工事の施工に関して建設業法第2条第1項に規定する建設工事を請け負わせること。

イ 非落札者が、契約者から本件工事を請け負うこと（2次下請、3次下請その他契約者と直接契約を締結しない場合を含む。）。

(理財局財務部調度課)